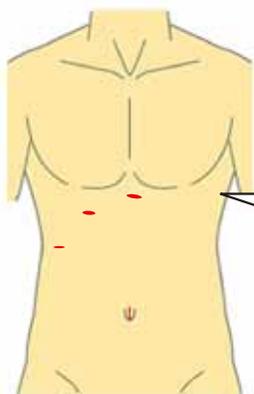
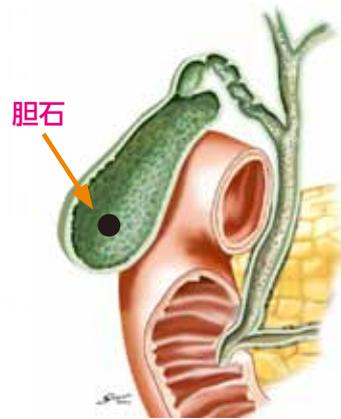
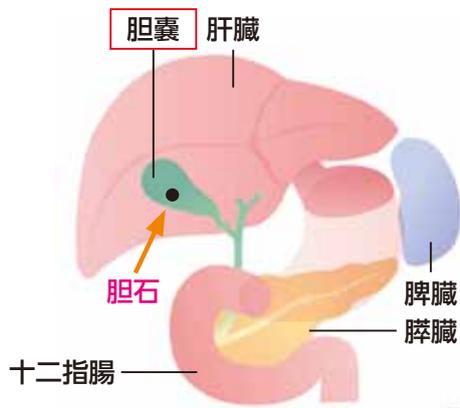


胆石症、胆のう炎の話 ～キズの小さい、低侵襲な手術～

胆石症とは

胆嚢は肝臓の下にある洋ナシ型の袋で、ここに石ができる事が胆石で、痛みや吐き気などの症状を伴うことがあります。

症状はおなかの右上に認めます。胆のう炎になると痛みに加え、発熱や黄疸を認めることもあります。この場合は手術が必要となります。



おなかの中に5mmの穴を3～4か所開けて、手術を行います。

石が胆嚢の根元に詰まってしまうと、胆嚢は腫大し、胆嚢炎を起こす場合があります。



- ・ 手術が必要な場合は、胆石を含めて胆のうを摘出し、ほとんど全て腹腔鏡手術で行っています。
- ・ 傷は小さいため、手術後の痛みは少なく、あまり目立ちません。
- ・ 早期の退院が可能で、また早く日常生活に戻れます。

胆石症が心配な方は、外科外来にご相談ください。

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
外科・消化器外科
住所：江東区新砂3-3-20
TEL：03-5632-3111



順天堂大学
医学部附属

順天堂東京江東高齢者医療センター

Juntendo Tokyo Koto Geriatric Medical Center

